



板倉で遊ぶ!!

水の郷いたくらは、水辺の魅力スポットがいっぱい。日光を浴びてキラキラと輝く水面と、さわやかな風を感じながら、スポーツ・ウォーターレジャーを楽しもう!



① 渡良瀬遊水地
東京ドームの約700倍にあたる33km²の広大な面積があります。緑豊かな大規模なヨシ原があり、多数の動植物が生息・生育しています。スポーツやレクリエーションの場としても親しまれ、毎年、トライアスロン大会が開催されます。2012年7月には、ラムサール条約登録湿地となりました。

② 三県境
「三県境」とは、3つの県で構成される1か所の県境のことを言います。三県境は全国で40か所以上ありますが、そのほとんどが山の山頂、尾根であったり、河川上であったりと、歩いて行けるところはありません。しかし、ここ群馬県板倉町、栃木県栃木市(旧藤岡町)、埼玉県加須市(旧北川辺町)の三県境は、全国で唯一といえる歩いて行ける平地に存在しています。最近テレビ番組でも多く紹介されています。



③ 群馬の水郷公園
谷田川河川敷の多くの池沼や緑に囲まれた自然をそのまま生かした、10万m²の広大なフィッシングパークです。3つの釣り場にはヘラブナが放流されています。※揚舟谷田川めぐりの発着場にもなっています。



④ 天神池公園
公園の中央にはじゃぶじゃぶ池が流れ、芝生広場、バーベキュー場、グラウンドゴルフ場などがあります。天神池では魚釣りが楽しめます。



⑤ 板倉グライダー滑空場
各地から集まったグライダー愛好家たちが、渡良瀬川の河川敷を利用した滑空場から大空に旅立つ様子は爽快です。



⑥ 板倉ゴルフ場
豊かな自然景観の中、谷田川の河川敷にあるリバーサイドコースでプレーが楽しめます。
TEL: 0276-82-3781
電話予約: 0276-82-4090



板倉を知る!!

いにしえ 古から水と共に生きてきた板倉には、水辺の土地ならではの文化や歴史が生まれました。そんな水辺の歴史を学んでみましょう。



⑦ 雷電神社
関東に多く点在する雷電神社の総本宮として広く信仰をあつめている神社で、地元では「雷電さま」と呼ばれ親しまれています。境内にある末社八幡宮稲荷神社は、県内最古の木造建築として国の重要文化財に指定されています。



⑧ 高鳥天満宮
学問の神様である菅原道真を祀っています。社殿には、全国でも珍しいとされる百人一首の天井画があります。学問に霊験があるとされ合格祈願の絵馬や「願掛け撫で牛」が奉納されています。町指定重要文化財。



⑨ 宝福寺の木造性信上人坐像
像高84.5cm、肩幅40cm、伸び伸びとして大胆なノミさばきの木造です。底板と胎内に記された修理銘から鎌倉時代中期の作と思われます。性信上人は親鸞の弟子24輩中の第一高弟といわれています。親鸞の関東布教の第一歩は宝福寺からはじまりました。県指定重要文化財。



⑩ 三角縁仏獣鏡 (県指定重要文化財)
江戸時代に西丘神社社殿建設時において赤城塚古墳から発掘され、神社の宝物として大切に保存されてきました。この鏡は、全国的にもめずらしく大変貴重なもので、直径は22.8cm、縁の断面が三角形、内側の紐(ちゆう)のまわりには三体の仏像と仙人そして四獣が描かれています。



揚舟
通常時は家の軒か、納屋の梁に太い麻縄で吊り下げておく舟を揚舟といいますが、水害が発生すると下ろして、住民や家畜、穀物等を水塚や近くの高台へ運びました。また、水中の稲を船刈りするのにも利用されました。



⑪ 通り前橋・北坪東橋(沈下橋)
谷田川に架かる橋であり中州を繋ぐ木橋。増水時に抵抗を少なくするための工夫として欄干を持たない構造。「モグリバシ」「イッポンバシ」とも呼ばれています。水場における良好な景観の一つ。構造は、木橋・コンクリート製橋桁。
通り前橋: 橋長27.1m、幅員2.0m
北坪東橋: 橋長20.5m、幅員2.0m

水塚
町の水郷文化を象徴する水塚は、水害のときに人や家財、食料、家畜などを守るために作られた建物です。土盛りをして主屋よりも3~5m高い場所に建てられました。1階が貯蔵場所で2階が居住場所となっています。



板倉村絵図 (1745年、荻野家文書 荻野貞雄氏蔵)
旧板倉村の古地図。土地の利用、屋敷や寺社の位置、道路・水路網が詳細に描かれています。絵図上での黒い太線は、谷田川の堤が連続堤ではなく、開いた状態になっており洪水時の越流水を板倉沼に排水する治水システムとなっています。水文化の古来の工夫が示されている貴重な絵地図です。現在は、板倉沼は埋め立てられ工業団地となっています。